

日韓女性がつくる東アジアの平和のための共同声明

私たち 日本 YWCA と韓国 YWCA(以下、日韓YWCA)は、「韓国・日本の女性たちが共につくりだす東アジアの平和」をテーマに、2019年1月11日～14日、京都において第10回日韓YWCAカンファレンスを開催しました。これまで重ねてきた協議と取り組みをとおして、私たちは、「戦争」と「核」を取りまく状況が東アジアだけではなく全世界の平和を脅かす重大な課題であること、また、原子力エネルギーと核兵器は女性への暴力の大きな要因であり、すべての生命への脅威であることを目の当たりにしてきました。今回も、私たちは共通の歴史認識のもとで連携して取り組み、そして地域と世代を超えて、女性たちの草の根の交流を継続していく決意を新たにしました。

過去、日本は韓国と中国をはじめとする東アジア諸国を侵略して、人々の人権を侵害し、多くのかけがえのない生命を奪ってきました。そして今も、安倍政権は歴史を省みることなく平和憲法の改憲の動きを加速させ、沖縄に軍事基地を強いて拡大させようとしています。戦争への体制づくりは進み、環境汚染・人権侵害・性暴力などが日常的に起こっている状況です。

2019年は日韓両国に歴史的な意味をもつ三・一独立運動100周年を迎える年です。三・一独立運動は、日本による植民地支配やその抑圧に立ち向かった韓国民衆の抵抗運動であり、全世界の植民地支配下で苦しむ人々に、平和の実現と人権の回復への希望をもたらしたという重要な意味をもっています。その運動から100年目のこの記念すべき年に開催した今回、私たちが歪曲された歴史を正し、戦争を繰り返すことがないように東アジアの平和構築のために協力し合うことを誓いました。

三・一独立運動の精神を、いかに継承していくのかという課題を前にして、私たちはまず、直面する「核」問題に注目しなければなりません。福島での原発事故後も、日韓両政府は原子力発電を中心とした電力供給体制をとっているために、女性や子どもはもちろんのこと、原発のある地域住民たちや社会の中で弱い立場におかれた人々の生命を脅かし、平和に安全に生活する権利を奪っている状況が続いています。また、全世界の平和の実現のためには、「北朝鮮」を含む地球規模の非核化の実現の必要性を強く認識し、私たちがこれら「核」を取り巻く課題に積極的に取り組むことに合意しました。

私たちは神の創造の秩序のもとで、人間に託された大地の管理者としての使命を謙虚かつ誠実に果たさなければなりません。イエス・キリストの生き方に倣い、その歩みに従いたいと願う私たちは、女性の視点で「戦争」や「核」のない平和な世界を創るために、これまでの運動の(または活動の)積み重ねをふまえて、以下の行動計画を立てました。

1. 2015年の第58回世界YWCA総会で採択した「核兵器と原子力エネルギーの同等な否定」の履行のために次のように行動します。

- 1-1. 「ヒバクシャ国際署名」を日韓 YWCA で集め、また世界へ広めるキャンペーンを展開する。
- 1-2. 日韓両政府が原子力エネルギーから脱し、持続可能で気候変動にも対応可能な新たなエネルギー体制づくりに積極的に取り組むよう、要請する。
- 1-3. 「核」否定の思想に立ち、「核」に依存するライフスタイルから脱して、持続可能ですべての生命が守られるライフスタイルを実践する。

2. 東アジアの平和構築のために次のように行動します。

- 2-1. 朝鮮半島の非核化のプロセスを積極的に支持し、1953年に締結された休戦協定を平和協定に転換することを日韓両政府に要請する。
- 2-2. 日本の平和憲法を変えさせないために、連帯し、行動する。
- 2-3. 沖縄・辺野古への新基地建設や韓国・星州(ソンジュ)へのサード(THAAD、高高度ミサイル防衛システム)などの配備によって、地域住民の生命と安全が脅かされないように連帯して監視する。
- 2-4. 日本軍「慰安婦」問題をはじめとする戦後の補償問題に対し、被害当事者の立場に立って日本政府に国家責任と正当な国家賠償を求める。
- 2-5. 国連安保理決議 1325 に基づいて、女性たちが安全保障と平和に関する重要な政策決定過程に参加することができるように、さまざまな取り組みを行う。
- 2-6. 日韓 YWCA が協力して東アジアの平和を構築するために、平和に取り組む人材を育成する。このためにユースや女性たちのリーダーシップ・トレーニングのプログラムを開発し、参加を呼びかける。

3. 三・一独立運動 100 周年を迎え、植民地支配が強圧的に進められたことを認識し、日韓関係における葛藤や対立から和解と協力に向かうように努力します。

- 3-1. 日韓 YWCA がそれぞれ加盟している日本キリスト教協議会(NCCJ)と韓国キリスト教教会協議会(NCCK)とが 2010 年に採択した『韓国強制併合 100 年 共同声明書』を支持する。
- 3-2. 日韓 YWCA は、疎外された世界の人々、ことに植民地支配体制の名残によって今日もなお差別され、排除されている在日コリアンや脱北者、また移住労働者・難民を積極的に支援する。
- 3-3. 日韓 YWCA の将来につながるパートナーシップを強化するために、日韓両 YWCA の過去の歴史を検証する。ことに朝鮮 YWCA が設立されるまでの経緯、また、1938 年に朝鮮 YWCA が「日本 YWCA 朝鮮委員会」に服属されたことを、調査して日韓 YWCA の歴史の記録に残す。

以上、私たち日韓 YWCA カンファレンスの参加者は、この共同声明に記したことを誠実に実行していくために、強く連帯して協力し合うことを誓います。

2019 年 1 月 14 日
日韓 YWCA カンファレンス参加者一同